

令和4年度 学校関係者評価会議 議事録

日時：令和5年5月30日 14:15～14:45

場所：錦秀会看護専門学校（一部オンラインによる参加）

出席者1：（学校関係者評価委員）

中本 光信（地域住民、元公立中学校校長）

星名 照美（卒業生）

原田 遥（卒業生）

西口 綾乃（卒業生）

以下の首席者はWeb会議システム「Zoom ミーティング」により参加

檜林 剛（錦秀会グループ総本部 管理局 副局長）

欠席者：

笹倉 清美（錦秀会グループ総本部 管理局看護部部長）

平野 清美（医療法人錦秀会 阪和記念病院看護部部長）

玉城直江（卒業生）

出席者2：錦秀会看護専門学校

山田 直子（副学校長）

中田 恵美（看護第1学科学科長）

神藤 めぐみ（看護第2学科学科長）

田中 奈絵子（准看護学科学科長）

以下の首席者はWeb会議システム「Zoom ミーティング」により参加

司会：奥田 ゆうこ（事務長）

議題：令和4年度 自己点検・自己評価に対する学校関係者評価

配布資料：

- ・令和4年度自己評価報告書（事前配布）
- ・令和4年度自己点検・自己評価および学校関係者評価会議
- ・令和3年度・令和4年度 自己点検・自己評価 評価結果（事前配布）
- ・学生アンケート（事前配布）

評価項目の内容を一通り説明。外部出席者の方を優先し、コメントをいただく。

○意見 I

1.「教育理念・目的・目標」について

→学生と教員では意識の違いがあるが、学生へ深く浸透する方法の立案が課題である。

2. 「学生の受け入れ」について
→評価は適正と考える。
3. 「学生生活への支援」について
→コロナ渦の中においても、活動されているが、ボランティア支援体制、学生委員会活動において具体的な取り組みを明示する方が良い。
4. 「教育課程」について
→点検・見直しを実施しているが、効果的編成を十分行うことが今後の課題となる。
5. 「教育活動・教育指導のあり方」について
→教育方法について検討の場を持っておられ、日常的に教材研究もなされているが、この2点においては、上手く機能しあうことが大切である。
6. 「実習指導体制」について
→実習指導体制に注力されており全体的にウエイトが高い。
実習指導者の能力開発についても前年度より改善されている。
7. 「研究・研修活動」について
→研究活動に積極的に取り組んでおられるが、研究活動の発表については基準を設けるなどし、研究成果の公表に向け努めていただきたい。
8. 「組織管理・運営」について
→評価は適正と考える。
9. 「施設設備」について
→評価は適正と考える。
10. 「社会への貢献」について
→コロナ渦の中ではやむを得ない結果と言える。
11. 「予算」について
→評価は適正と考える。
12. 「学校評価」について
→良く分析されている。今後も活かされることを期待します。

- ・全体として良く分析されている。あえて改善すべき点を述べるとすると、学生への関わり（アプローチ）において、若干弱い印象を受ける。コロナ渦の影響も大きいはずであろうから、次年度の結果に期待したい。
- ・学校をより良くするためにアンケートの具体的な内容をシェアする機会を設けて欲しい。
- ・学校運営には様々な観点から、多くのことを冷静に評価することが大切であると思われる。学生のために積極的に意見を述べていきたい。

○意見 II

- ・学生アンケートで詳細な意見やコメントがあるのであれば次年度より拝見させていただきたい。病院・施設では、患者様から頂いたご意見に返答し、それを受付などで公開している。毎年同様の意見があるとは思いますが、それらを把握して改善に向けることが、より良い環

境作りとなると思われる。

山田副学校長より、貴重なご意見を多くいただいたことに感謝申し上げます。現状の運用の中に改善のヒントがあり、一つでも多く改善に繋がられるよう、教職員一同邁進していきたい。と述べられた。